

高知城下浦戸町(現・高知市南はりまや町)生まれ。絵にも学問にも素質があった小龍は、土佐で南画家、島本蘭溪に師事したのち、京都に出て狩野永岳に狩野派を、中林竹洞に南画を学んだほか、儒学を土佐の岡本寧浦、奥宮鑑齋らに学びました。

小龍は、アメリカから帰国した中浜万次郎(ジョン万次郎)の聞き取りを行い、絵入りの記録『濃異紀略』を記したことも知られています。土佐の町絵師、絵金とは師弟に近い関係にあり、絵金が大成した芝居絵屏風を小龍も手掛けました。幕末期には国事に奔走し、明治に入ってからは官吏として書記掛、内国博覧会事務掛などの仕事を歴任。晩年は京都に移住し、京都府知事、北垣国道の依頼を受けて琵琶湖疏水工事の過程を記録した『琵琶湖疏水図誌』を制作しました。

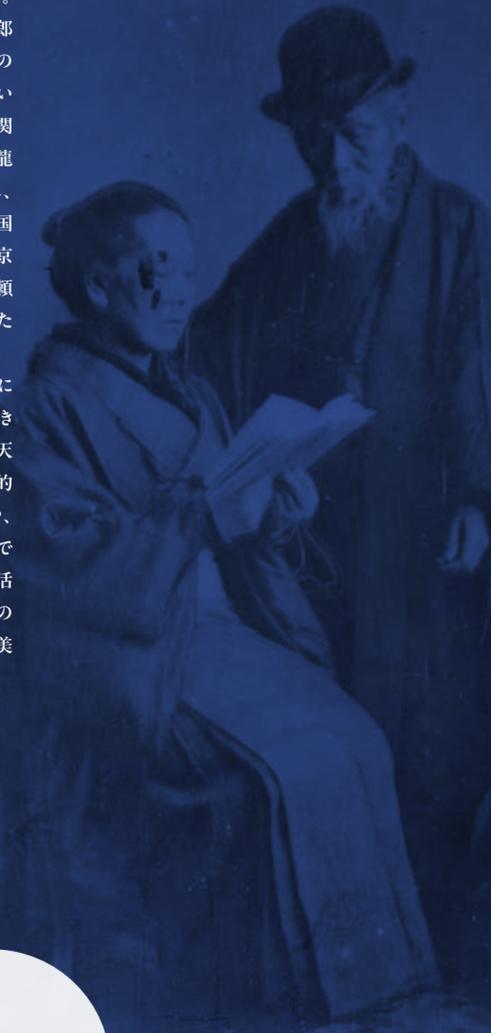
また、九州の名勝・耶馬溪を妻の照とともに旅し、その風景を集めた『客豊図志』を描き上げ、広島では日清戦争の大本営で明治天皇の御前で揮毫を行うなど、晩年まで精力的に活躍。端正で着実な筆致による人物画や、鋭い観察眼に基づく数々の作品やスケッチで知られるほか、襖絵や絵馬などの人々の生活とかかわる絵画も多数手がけました。後進の育成にも尽力し、高知、京都、広島で近代美術の担い手を育てました。



スタンプラリー
3館すべての小龍展を巡った方には、「柴田ケイコさん画小龍さんステッカー」をプレゼント!



助成: (一財)地域創造



河田小龍

文政7年(明治31年)1824(1898)

かわだ／かわた

しょうりょう

関連イベント

[3館連携特別企画] 記念講演会
「舞台は回る、激動の時代の美術(仮題)」
講師: 木下直之氏(静岡県立美術館館長)
開国が攘夷か? 維新か復古か? 新国家をめざし龍馬らが奔走し、小龍が活躍した時代は、美術にとっても「激動」の時代でした。幕末から維新期に、何が舞台から退き、何が新たに登場したのか、文化の諸相についてお話いただけます。
日程: 12月7日(土) 13:30~15:00頃
会場: 高知県立坂本龍馬記念館 新館1階ホール
定員: 50名(先着順) 聴講無料
申込: 11月1日(金)より受付を開始します。龍馬記念館まで電話(088-841-0001)、メール(ryoma@ryoma-kinenkan.jp)、FAX(088-841-0015)でお申込みください。

バスツアー
学芸員の解説付きでめぐる! 小龍ゆかりの地 バスツアー
小龍の作品は、身近なところにも数多く伝わっています。学芸員の解説付きで、地域に伝わる小龍作品や小龍ゆかりの地をめぐります。

- ①11月16日(土)一赤岡、安芸をめぐるバスツアー
美術館集合 8:40▶歴史民俗資料館「河田小龍展」▶香南市赤岡町・西川屋本店、絵金蔵▶安芸市・杉本家住宅▶美術館「河田小龍展」▶16:00頃解散(予定)
- ②12月1日(日)一土佐市絵馬&津野町襖絵バスツアー
龍馬記念館集合 8:30▶土佐市・松尾八幡宮、三島神社▶須崎(昼食)▶津野町・津野町郷土資料館▶歴史民俗資料館・龍馬記念館「河田小龍展」▶17:00頃解散(予定)
*参加申込等については、各館ウェブサイトをご覧ください。

ウォーキングイベント 史跡巡り
小龍ゆかりの町歩き
学芸員と一緒に小龍が生まれたはりまや橋周辺地域を歩いて巡り、小龍が生きた時代に思いをはせます。
日程: 12月8日(日) 9:00~12:00(予定)
*参加申込等については、県立坂本龍馬記念館のウェブサイトをご覧ください。



©柴田ケイコ



高知県立坂本龍馬記念館 The Sakamoto Ryoma Memorial Museum | 高知県立歴史民俗資料館 KOCHI PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY | 高知県立美術館 THE MUSEUM OF ART, KOCHI

主催◎公益財団法人高知県文化財団(高知県立坂本龍馬記念館、高知県立歴史民俗資料館、高知県立美術館)、KUTVテレビ高知
後援◎高知県教育委員会、高知市教育委員会、南国市教育委員会、高知新聞社、NHK高知放送局、共同通信高知支局、時事通信高知支局、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知

学芸員による展示解説
龍馬館 11月16日(土)、12月14日(土) 各日14:00~14:30
歴史館 11月23日(土・祝)、1月3日(金) 各日14:00~14:30
美術館 11月9日(土) *スペシャルトーク 12月4日(水)、12月15日(日) 各日14:00~15:00
*11月9日(土)は3館の担当学芸員による合同展示解説です。その他の日程は各館の学芸員が解説します。
*参加無料・要観覧券・事前申込不要

レクチャー
龍馬館 クロストーク
絵画だけでなく、漢詩などの文学にも強い関心を持っていた、小龍というマルチ画人の魅力をお伝えします。
日程: 11月17日(日) 14:00~15:00
会場: 高知県立坂本龍馬記念館 新館1階シアターコーナー
講師: 上本竹永さん(高知県漢詩連盟会長、担当学芸員)
*参加無料・要入館券・事前申込不要
*オンラインでのライブ配信を行う予定です(アーカイブ配信はなし)

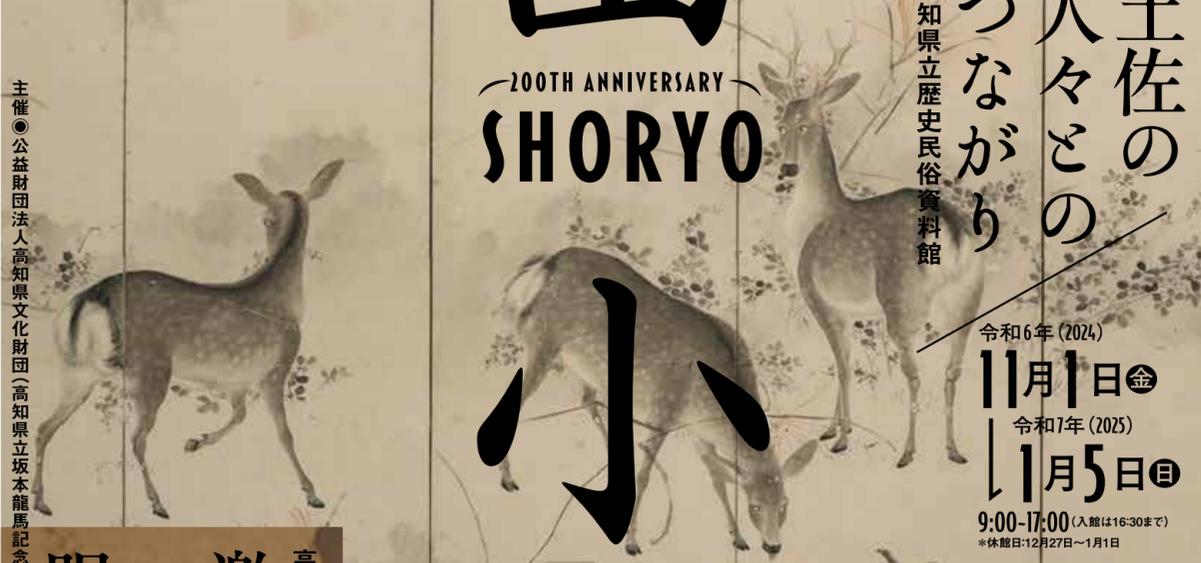
美術館 サタデーレクチャー
「河田小龍の絵画作品の変遷—変転する時代の視覚—」
小龍の作風の変遷から、幕末維新期の視覚文化を読み解きます。
日程: 11月23日(土・祝) 10:30~12:00
会場: 高知県立美術館 1階 講義室
講師: 中谷有里(高知県立美術館主任学芸員)
*参加無料・事前申込不要

美術館 ティーチャーズウィーク(美術館のみ・要予約)
高知県内の教職員の方(図工・美術以外を含む)は美術館の小龍展およびコレクション展を無料でご覧いただけます。
日程: 11月11日(月)~17日(日) [要予約]
申込: 11月4日(日)までに、県立美術館まで電話(088-866-8000)でお申込ください。

各館へのアクセス
高知県立坂本龍馬記念館 ryoma-kinenkan.jp
〒781-0262 高知市浦戸城山830番地
電話:088-841-0001
●車・タクシー:JR高知駅から約35分、高知龍馬空港から約25分、高知南I.C.から約15分
●路線バス:JR高知駅からとさでん交通「桂浜」行またはMY遊バス「龍馬記念館前」下車、徒歩約2分 ●駐車場:あり

高知県立歴史民俗資料館 kochi-rekimin.jp
〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1
電話:088-862-2211
●車・タクシー:高知市中心部から約20~30分/南国I.C.から約10分もしくは高知I.C.から約15分/高知龍馬空港から約20分、JR後免駅から約15分 ●路線バス:とさでん交通—はりまや橋・高知駅北口ほかで乗車、銀石、南国オフィスパーク方面(G5、6)行き(1時間に1~2便)または、南国市コミュニティバス—後免町、大津駅前から医大病院方面行き(1日2便)「学校分枝(歴史館入口)」下車、徒歩約15分 ●駐車場:あり

高知県立美術館 moak.jp
〒781-8123 高知市高須353-2
電話:088-866-8000
●路線バス:とさでん交通「葛島」下車、徒歩約16分○高知龍馬空港からとさでん交通の空港連絡バスがご利用いただけます。●路線電車:とさでん交通「はりまや橋」から「ごめん」「銀石通」「文殊通」行きで約15分、「県立美術館通」下車徒歩約5分 ●車・タクシー:JR高知駅から約15分、高知龍馬空港から約20分、高知I.C.から約10分(高知東部自動車道方面からは降りられません)、高知中央I.C.から約3分、高知南I.C.から約10分 ●駐車場:あり



高知県立坂本龍馬記念館
令和6年(2024) 10月23日(水) 12月15日(日) 9:00-17:00 (入館は16:30まで) *全期中無休

土佐の人々とのつながり
200TH ANNIVERSARY SHORYO
高知県立歴史民俗資料館
令和6年(2024) 11月1日(金) 令和7年(2025) 1月5日(日) 9:00-17:00 (入館は16:30まで) *休館日:12月27日~1月1日

高知県立美術館
激動期への眼差し
令和6年(2024) 11月9日(土) 令和7年(2025) 1月5日(日) 9:00-17:00 (入館は16:30まで) *休館日:12月27日~1月1日

高知県立坂本龍馬記念館(高知市浦戸城山) 高知県立歴史民俗資料館(南国市岡豊町) 高知県立美術館(高知市高須)

高知県立坂本龍馬記念館(高知市浦戸城山) 高知県立歴史民俗資料館(南国市岡豊町) 高知県立美術館(高知市高須)



高知県立美術館 激動期への眼差し

令和6年(2024)

11月9日

令和7年(2025)

1月5日

9:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日:12月27日~1月1日

※初日は10:00からの開展示後に開館

観覧料 一般前売960円 / 一般当日1,200円 [960円]

大学生850円 [680円]

小 龍は同時代の土佐の画人の中でも特に優れた画力の持ち主でした。その技術を支えていたのが鋭い観察眼と尽きない好奇心です。狩野派、南画、円山派、浮世絵、仏画など、目にしたあらゆる流派の絵画様式を吸収し、多彩な画業を展開しました。同時に幕末から近代にかけての激動期を目撃し、移り行く時代の有様を絵図や大量のスケッチとして残しています。本展ではこれら絵画作品や資料を通して小龍の「眼差し」を追いながら、その画業の全貌を俯瞰します。

主催 ● 高知県立美術館(公益財団法人高知県文化財団)、KUTVテレビ高知 展示点数 ● 約130点



好奇心旺盛なハイカラ画人として

長さ8.5メートルの大迫力！



文人の憧れの地「耶馬溪」を堪能！ 繰り返し描かれた旅の思い…狂…狂…



鳥の眼で京都を見下ろす 壮麗なパノラマビュー！



10.《鍾山面稿》個人蔵 11.《写生帖》個人蔵 12.《袁叢西遊記》個人蔵 13.《琵琶湖疏水絵図》個人蔵 14.《玄宗皇帝楊貴妃並笛圖》高知県立美術館寄託 15.《鯨図》一言の画科医・島崎誠氏蔵



モノクロに浮かぶ光景に龍一



6.《横軸(義経千本桜、加賀見山田錦繪)》高知県立歴史民俗資料館蔵 7.《小袖(青地梅花模様染織)》佐川町立青山文庫所蔵 8.《衝立(龍虎図)》高知市国清寺所蔵 9.《鯨馬(鎮西八郎為朝図)》南州市祈年神社所蔵

土佐の人々とのつながり

令和6年(2024) 11月1日 令和7年(2025) 1月5日 9:00-17:00 (入館は16:30まで) 休館日:12月27日~1月1日 観覧料 大人(18才以上)520円 [420円]

小 龍は暮らしのなかで用いる掛軸、衝立、屏風、襖絵や神社に奉納する絵馬も描いています。例えば、掛軸は床の間に飾り季節や景色を屋内に取り込む役割を果し、衝立や屏風は広い日本間の空間を仕切る建具として楽しまれてきました。また絵馬には、豊漁や無病息災など市井を生きる人々の願いが込められています。本展では、土佐の人々の暮らしと密接につながりながら生み出され、今日まで守られてきた小龍の作品の一端を紹介します。

主催 ● 高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)、KUTVテレビ高知 展示点数 ● 約25点

土佐随一の教養人として

ジョン万次郎から聞いた 西洋事情を小龍が聞き取り！



1.《奥宮儲齋像》高知市立高知市民図書館蔵 2.《沿岸防備の大砲》高知県立歴史民俗資料館蔵 3.《漂異紀略(大津本)》高知県立坂本龍馬記念館寄託 4.《漂異紀略(龍馬記念館本)》高知県立坂本龍馬記念館蔵 5.《琵琶湖疏水鳥獸図》琵琶湖疏水記念館蔵

龍馬に世界を教えた男

令和6年(2024) 10月23日 12月15日 9:00-17:00 (入館は16:30まで) 会期中無休 観覧料 大人(18才以上)700円 [560円]

小 龍は岡本寧浦や奥宮儲齋に学問を学んだ土佐随一の知識人でもありました。その最も有名な業績のひとつが、アメリカから帰国したジョン万次郎の聞き取りをまとめた『漂異紀略』です。坂本龍馬は海外事情にも明るい小龍を訪ね、これからの日本の有様を問いました。小龍から助言を受けた龍馬は、海外への関心を深め、やがて海援隊へとつながります。ジョン万の海外体験は、小龍を通じて龍馬に影響を与えたとも言えます。本展では、『漂異紀略』をはじめとする資料群によって小龍の多様な魅力をご紹介します。

主催 ● 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)、KUTVテレビ高知 展示点数 ● 約50点(一部展示替)



1.《奥宮儲齋像》高知市立高知市民図書館蔵 2.《沿岸防備の大砲》高知県立歴史民俗資料館蔵 3.《漂異紀略(大津本)》高知県立坂本龍馬記念館寄託 4.《漂異紀略(龍馬記念館本)》高知県立坂本龍馬記念館蔵 5.《琵琶湖疏水鳥獸図》琵琶湖疏水記念館蔵